

国・県事業の促進への動き掛け

国の事業

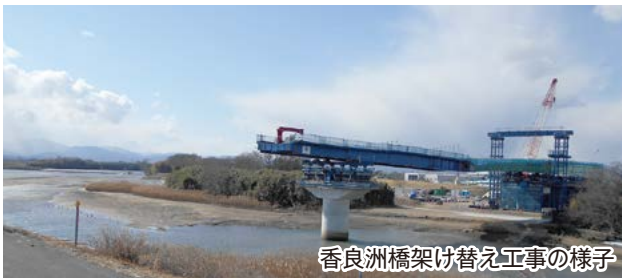
- 津松阪港区域の海岸堤防整備(市内全工区の令和5年度工事完了に向けた整備促進)
- 一級河川雲出川の河道掘削・堤防整備(雲出古川両岸の堤防整備の早期完了、木造地区の堤防整備の促進など)
- 中勢バイパスの全線4車線化(長岡宮ノ前交差点付近の早期工事完了、大里窪田出口交差点の早期工事着手)



長岡宮ノ前交差点付近の工事の様子

県の事業

- 上野・白塚地区の海岸堤防整備(上野地区海岸の整備促進、白塚地区海岸の早期工事着手)
- 白塚漁港海岸の堤防整備(白塚工区の早期工事完了、河芸工区の早期工事着手)
- 新相川橋の架け替え工事
- 河川の治水対策(河川の改修・浚渫)
- 令和4年3月の工事完了に向けた香良洲橋架け替え



香良洲橋架け替え工事の様子

- 亀山安濃線の高野尾バイパス、国道163号の片田バイパス、津久居線、一志出家線の中川原橋、一志美杉線の室ノ口バイパス・室ノ口から矢頭トンネル、国道368号の下太郎生・奥立川工区などの道路整備

市民の命と暮らしを守る予算

令和3年度の予算は前年度比0.3%増の1,099億4,000万円となりました。

【歳出】 合併特例事業債を活用して行う大規模事業が終了したことに伴い、普通建設事業費は前年度比29.3%減の68億5,000万円。市民生活に関わる重要なインフラ整備などの事業費は増額。

【歳入】 新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、市税収入全体で、前年度比4.6%減の395億

1,000万円、地方交付税は、普通交付税の合併特例措置の終了を受け、前年度比6.1%減の169億円。市債は、臨時財政対策債が前年度比120.3%増の65億円と大幅に増加したことなどにより、前年度比10.1%増の87億2,000万円。また、公債費の償還に充当する減債基金など特定目的基金を20億1,000万円、財政調整基金を50億円取り崩して編成。

特定の自治会に対する諸問題

早急に解決すべき課題である特定の自治会に対する諸問題については、法律顧問弁護士からの最終報告を受けて、明らかに市職員の職務が公正公平に執行されていないものについては、職員の処分も含め、厳正に対処いたします。なお、職員の管理責任は市長である私にございます。

今回のような事態の再発を防止するため、**津市の組織風土や事務執行を改革**いたします。まず、職員が困難な問題を抱え込み、苦しんできたことへの反省を踏まえ、**全ての職員が相談しやすい組織**を作ります。**市長直轄の市役所内部を統制する組織**を新たに設置します。その上で、職務権限の範囲や事務執行の方法に問題があったものは、**事務執行の仕組みやルールの見直し**を行います。不当要求や圧力に対して毅然と対処できるように**口頭や面談での要求を記録・報告する仕組みの構築**とともに、**職員の倫理規程**も策定してまいります。

私の責任のもとで、過去を断ち切り、職員一人一人が公正公平な職務に専念できる体制を作り上げてまいります。

市民の皆さまが安心して暮らせるように

最後に、新型コロナウイルス感染症については、依然として先行きが不透明で出口が見えない状況の中、令和3年度のスタートを迎えることとなります。思い返しますと、昨年のこの時期にお示した令和2年度の施政方針には、コロナや感染症という言葉は全くなく、よもや感染症への対応が中心となる1年になるとは思ってもいなかったわけです。

しかし、その後、学校の休業要請や緊急事態宣言に端を発した市民生活や地域経済への影響に対応するため、コロナ対策に取り組んできた1年であり、おそらく令和3年度もそのような年になると思われまます。コロナ禍という閉塞した状況の中ではありますが、三重とこわか国体・三重とこわか大会が希望のきらめきを放ち、私たちの一つの明るい見通しとなることを願いながら、市民の皆さまが安心して暮らせるよう、全職員が全力で市民の皆さまを守り抜いてまいります。